

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 1 月 10 日(2025.1.10)

【公開番号】特開 2024-117123(P2024-117123A)  
【公開日】令和 6 年 8 月 29 日(2024.8.29)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-162  
【出願番号】特願 2023-23027(P2023-23027)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 0

A 6 3 F 5/04 6 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 26 日(2024.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有利度が異なる複数の設定値を有し、

複数の設定値のうち最も有利度が高い第 1 設定値を有し、

第 1 設定値であるときにのみ実行可能な第 1 設定値報知演出を有し、

第 1 条件を満たすと第 1 の第 1 設定値報知演出を実行可能であり、

第 2 条件を満たすと第 2 の第 1 設定値報知演出を実行可能であり、

第 1 設定値であるときに、「第 1 の第 1 設定値報知演出を実行する確率」×「第 2 の第 1 設定値報知演出を実行する確率」で求められる値の分子を 1 としたときの分母が、1 0 0 0 0 未満となっている

30

遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、

有利度が異なる複数の設定値を有し、

40

複数の設定値のうち最も有利度が高い第 1 設定値を有し、

第 1 設定値であるときにのみ実行可能な第 1 設定値報知演出を有し、

第 1 条件を満たすと第 1 の第 1 設定値報知演出を実行可能であり、

第 2 条件を満たすと第 2 の第 1 設定値報知演出を実行可能であり、

第 1 設定値であるときに、「第 1 の第 1 設定値報知演出を実行する確率」×「第 2 の第 1 設定値報知演出を実行する確率」で求められる値の分子を 1 としたときの分母が、1 0 0 0 0 未満となっている

遊技機である。

また、本発明は、

メイン制御手段は、設定値が記憶可能な第 1 設定値記憶領域を有し、

50

サブ制御手段は、設定値が記憶可能な第２設定値記憶領域を有し、

第１設定値記憶領域は設定変更に伴う初期化処理にて初期化可能であるよう構成されており、

第２設定値記憶領域は設定変更に伴う初期化処理にて初期化されないように構成されており、

第１設定値である状況で設定変更が実行され、第１設定値よりも出玉率の高い第２設定値に変更された場合、第２設定値である状況で実行された遊技において、現在の設定値が前回の設定値よりも出玉率の高い設定値であることを遊技者が認識可能である第１設定値確定演出が実行可能である

遊技機であつてもよい。

10

20

30

40

50